

西郷町・布施村・五箇村・都万村

文化財に囲まれた文化財 玉若酢命神社

西郷町下西
 <指定>国重文・建造物、無形民俗文化財
 平安時代の律令の細則を書いた「延喜式」にも載るこの社は、鳥後を代表する旧隠岐国の総社。本殿は隠岐最古のもので、大社造りと春日造りを合わせた隠岐造りと呼ばれる独特のもの。神社裏の古墳群から見る土屋根の構造がよくわかる。毎年6月5日に、馬入れ神事、流鍋馬、神輿行列が行われる御例会風流が見られる。神社の隣には、重要文化財である隠岐家住宅があり、隣接する隠岐家宝物殿には、「隠岐国駅鈴」や「隠岐倉印」などを展示している。
 <交通>西郷港からバス5分玉若酢命神社前下車すぐ
 <いにしえ>6巻P18

非常に整った前方後円墳 玉若酢命神社古墳群

西郷町下西
 <指定>県・史跡
 玉若酢命神社の北西丘陵上には10基以上の古墳がある。頂上には群中最大の前古墳である8号墳があり、長さ32mの非常に整った前方後円墳として有名。後円部頂上には石室、あるいは石棺の用材とみられる石がある。ほかの古墳には、杭囲いと標柱が立っている。
 <交通>玉若酢命神社からすぐ
 <いにしえ>3巻P40

国分寺を見たあとで 権得寺廃寺

西郷町下西
 玉若酢命神社の北西300mの丘陵東斜面にあり、現在は畑地、杉林となっていてわかりにくい。寺域、建物配置などは不明だが、径1m前後の礎石(建物の土台とする石)が残っている。周辺より瓦が採取されており、その文様から国分寺や国分尼寺と同じく奈良時代の寺院と推定されている。
 <交通>玉若酢命神社から徒歩10分

隠岐最大の古墳 平神社古墳

西郷町平
 <指定>県・史跡
 全長約48mの前方後円墳で、隠岐の古墳の中では全国的にも名が知られている。墳丘にはかつて、墓石や埴輪が認められたらしいが、現在ではほとんど目に見ることができない。後円部にある横穴式石室は天井石が失われているが、側壁と奥壁の一部が残っており、小さな石をていねいに積んでいる。石室の位置が墳丘の中心からずれており、もう一つの石室が埋まっているかもしれない。
 <交通>玉若酢命神社から徒歩30分。国分寺から徒歩20分
 <いにしえ>3巻P39

蓮華会舞の面々 隠岐国分寺

西郷町池田
 <指定>国・史跡・重要無形民俗文化財(蓮華会舞)、県・有形民俗文化財
 元弘の変(1331年)で隠岐に流された後醍醐天皇の行在所跡と言われて名高い。現在の寺の背後に古い本堂跡があり、礎石(建物の土台とする石)が並ぶ。よく見ると柱を乗せる部分が円形に彫り込んである。寺域内から奈良時代の瓦が見つかっているが、創建時の建物配置などは不明。蓮華会舞はここで行われ、有名な面が保管展示されている。
 <交通>西郷港からバス15分国分寺前下車すぐ
 <連絡先>08512-2-2934
 <いにしえ>6巻P33

謎の多い隠岐の古代寺院 隠岐国分尼寺跡

西郷町有木
 <指定>県・史跡
 通称尼寺山の上に位置し、西約400mには国分寺がある。1949、69、70年に発掘調査され、建物6、柵列12などが見つかっている。遺物には国分寺出土と言われるものと同じ文様の瓦などがあり、寺院跡とする根拠の1つとなっている。現在は説明板が立っているだけだが、今でも畑の耕作中に瓦が出るらしい。
 <交通>国分寺から徒歩10分

石器を多用していた旧石器時代や縄文時代には、隠岐は石器の素材である黒曜石が採掘される、非常に重要な島だった。現在でも久見などで採掘できるが、黒曜石の破片は島のあちこちに落ちている。島全体が石器の工場だったのかも。

前方後円墳ロード 甲ノ原2号墳

西郷町下西
 <指定>町・史跡
 下西から西郷町役場へ抜ける道の周辺には4つの前方後円墳が確認されている。いずれも30mクラスで、中でもこの甲ノ原2号墳と、3号墳は住宅地の中にあり見学しやすい。2号墳は道路側に後円部を向けており、ほぼ完全な形で残っている。3号墳は二宮神社がある小山中、前方部は半分しか残っていない。他の二つは北側の山中にある能木原古墳群で、草木が茂っているためわかりにくい。いずれも全長36mもあり注目される。
 <交通>玉若酢命神社から徒歩10~20分

謎の建物群 尼寺原遺跡

西郷町有木
 隠岐高校建設に伴い、本格的に調査された大規模な古代集落跡。古墳時代末から平安時代中ごろにかけての建物50軒や古道などが発見され、隠岐国府との関係が注目された。現在、高校のグラウンド横に主要部分が保存され、建物の表示と説明板がある。
 <交通>国分寺から徒歩20分

道で切られた前方後円墳 能木原古墳群

西郷町斎京谷
 8基の古墳のうち2基が前方後円墳で、5号墳は山道によって前方部が切られている。後円部頂上には台風によって倒れた松の根元に、石室の一部と考えられる石積みが見える。小型の竪穴式石室かもしれない。
 <交通>玉若酢命神社から徒歩20分
 <いにしえ>3巻P13

いにしえの黒曜石工場 宮尾遺跡

西郷町東郷
 <指定>町・史跡
 西郷湾奥、宮尾半島にある遺跡で、隠岐最古の縄文時代前

期の土器も発見されている。1971年に発掘調査が行われ、多量の土器や石器が出土し注目された。黒曜石は五箇村の久見産のものがほとんどで、ここで石鑑(矢じり)を生産、出雲・石見などへ搬出していたのかも。
 <交通>西郷港から車10分
 <いにしえ>4巻P9

「釜の民家」 佐々木家住宅

西郷町釜
 <指定>国・建造物、県・有形民俗文化財(旧佐々木家生活用具)町・古文書
 外海に面した山腹に残る、島内最古級(1836年建築)の民家。ここでまず目につくのは、板葺の屋根にたくさんの石が置かれている光景。入口は3カ所あるが、それには意外な理由があり、現地の説明板に詳しい。ここで使用された民具一式が展示されている。
 <交通>西郷港からバス25分釜入口下車、徒歩5分
 <いにしえ>4巻P29

島根大学と関西大学が調査 湊遺跡

西郷町湊
 <指定>町・史跡
 1956年に島根大学と関西大学の隠岐文化総合調査団によって発掘調査された。遺物は縄文時代後晩期の土器片のほか、石器、獣骨などで、黒曜石の石鑑(矢じり)や破片が多く、当時の石器工場の跡かもしれない。現在でも黒曜石がたくさん見つかる。
 <交通>西郷港から車1時間

隠岐の古き漁村 卯敷の舟小屋

布施村卯敷
 小さな入り江奥の砂浜に20軒あまりの舟小屋が立ち並んでいる。屋根は昔ながらの板葺きで、上に大きな石がいくつも置き並べてある。トタン屋根に代わったものもあるが、全体によく昔の姿をとどめている。都万村の釜屋、屋那にも同じような舟小屋が見られる。
 <交通>西郷港からバス45分保養センター前下車、徒歩5分

文化財集中地帯 水若酢神社

五箇村都万
 <指定>国・建造物(本殿)県・無形民俗文化財(水若酢神社祭礼風流)

隠岐を代表する神社で、玉若酢命神社と同形だが、建っている場所の違いか、装飾の違いか、別の雰囲気を持っている。5月3日には、神事「山曳き」が行われ、2m四方の櫓を太い縄で引いて歩くという珍しいもの。周辺には古墳をはじめ、多くの文化財があり、玉若酢命神社周辺と並ぶ古代の中心的地域である。隠岐の風習・風土を紹介する「五箇創生館」も近い。
 <交通>西郷港からバス35分水若酢神社前下車すぐ
 <連絡先>08512-5-2123
 <いにしえ>6巻P18

隠岐最大の横穴式石室 水若酢神社古墳群

五箇村都
 <指定>県・史跡
 神社境内に古墳が2基ある。本殿東にある石組みが1号墳の横穴式石室で、石室をおおう墳丘は失われている。内部には石棺2基が埋まっているが、現在は見ることができない。本殿背後にある高まりが2号墳で、径20mの円墳と考えられる。1号墳からは大刀、ガラス玉、土器などが出土しており、現在は東京国立博物館に収蔵されている。
 <交通>西郷港からバス35分水若酢神社前下車すぐ。
 <いにしえ>3巻P40

明治の洋風建築 旧周吉外三郡役所庁舎

五箇村都
 <指定>国・重要有形民俗文化財、県・建造物(旧庁舎、都万目の民家)・有形民俗文化財
 水若酢神社横にある明治初期の洋風建築で、西郷町西町にあったものを移築、「隠岐郷土館」として島後の生活民具などを展示している。もとは隠岐島庁舎で、周吉・穂地・海士・知夫の旧四郡の役所であったため、この名がある。裏手には古い農家「都万目の民家」が移築されているほか、前庭には黒曜石を運んだ丸木舟「からむしII世号」も展示されている。
 <交通>水若酢神社から徒歩すぐ
 <いにしえ>1巻P11、4巻P29

前方後円墳？2つの古墳？ 美々津丘1・2号墳

五箇村南方
 丘の上にある、全長35mの前方後円墳とされている。後円部には石室の一部と考えられる石がある。ここから西下方を見るともう1つ高まりが見え、これが前方部とされているが、別の古墳がもう1つ並んでいるという説もある。ここへ行くには民家の脇を通らないといけないので、ひと言断りを。
 <交通>水若酢神社から車で5分
 <いにしえ>3巻P40

隠岐の横穴墓代表選手 北方横穴墓群

五箇村北方
 五箇村役場の裏山にある横穴墓群で、10基以上が見つかっている。最初に目に付くのは半壊した玄室(内部の部屋)だが、よく探せば入口から奥まで残りのよいものも多くなる。天井は平たいものと家形に加工されたものがあり、床の岩盤に遺体を安置するためのベッドが彫り込まれた珍しいものもある。
 <交通>五箇村役場から徒歩5分
 <いにしえ>3巻P39

隠岐を代表する神楽 伊勢命神社

五箇村久見
 <指定>県・無形民俗文化財
 神社の例祭日(平成偶数年は7月25日、奇数年は26日)に、夜を徹して行われるこの神楽は、石見神楽と比べて素朴で質素。もとは都万村の油井で行われていたもので、大漁祈願・雨乞いなどの祈禱神楽が下敷きとなっているのは隠岐神楽の共通点と言える。このほかにも隠岐神楽を代表するものとして、同村の代神楽、西郷町の原田神楽・西村神楽などがあり、おすすめ。
 <交通>水若酢神社から車10分

京都発「百首和歌」 高田神社

都万村都万
 <指定>県・書跡(紙本墨書高田明神百首和歌)
 都万村中心部にそびえ立つ、高田山のふもとにある。ふだん見ることができないが、本殿には百首和歌が保管されている。この和歌は14世紀後半に京都の二奈良長基が呼びかけ、名士43人によって書き送られ、奉納されたと伝えられている。神社へ向かう

途中に旧都万小学校、同中学校跡地がある。
 <交通>西郷港からバス30分都万向山下車、徒歩5分
 <いにしえ>6巻P18

横穴墓と貯蔵穴 釜田横穴墓群

都万村都万、釜田
 村営住宅の北端の丘陵谷斜面にある横穴墓群。10基以上あるはずだが、確認できたのは3穴で、埋まってしまったものもあるかも。うち1穴は天井が平らで、床にもみ殻が敷いてある。これは最近まで地元の人がイモの貯蔵穴として使っていたときのもので、古墳とは関係はない。隠岐には貯蔵目的に掘られた穴

が多いため、古代の横穴墓との区別が大事。入口の高さが地面と同じものは、貯蔵穴が多いらしい。
 <交通>バス停都万向山から車5分
 <いにしえ>3巻P40

石垣が残る 千光寺跡

都万村都万
 都万を見おろす山腹にあり、石垣や礎石(建物の土台とする石)基壇(建物の基礎になる壇)が残る。明治初年に廃寺となった真言宗寺院で、中世には都万でもっとも大きな勢力を持っていたと言われ、高田神社の百首和歌の寄進にも関わったと考えられている。林道脇にあり、車で行ける。
 <交通>都万村役場から車10分

「観光しながら歩く」

隠岐は観光地としての資源に恵まれています。文化財もその一つで、玉若酢命神社や、黒木御所跡などは、まさに観光地そのものと言ってよいでしょう。ここではそうした観光地を訪れた際、ちょっと足を伸ばせば見ることが出来る文化財を取り上げてみました。

島前編

船引運河周辺(西ノ島町)

観光バスで美田湾を通るとき、バスガイドさんの説明があるとしたら、船引運河が外浜海水浴場だろう。この海水浴場の小さな砂丘には、中世の貝塚・外浜貝塚がある。現在でも貝の層が白く見え、土器なども見つけることができる。さらにこの運河から浦郷方面に900mほど行くと、山側に「来居1号横穴墓」の説明板が見え、コンクリート擁壁の一角に入口がある。

隠岐神社周辺(海士町)

桜並木や後鳥羽上皇火葬塚など有名な隠岐神社から西へ700mの所にあるのが「都山東古墳群」。墓石を持った古墳で、ガラス玉などが見つかっている。「都」という地名は古代の役所である郡家を意味していると言われ、海士郡家がこのあたりにあった可能性が高い。

赤壁周辺(知夫村)

国指定の名勝である赤壁は遊覧船で見学するのがつつつだが、知夫

漁港から陸路で行くこともできる。漁港西側の道路を車で行くと、突き当たりに赤壁への山道がある。これを登る途中に「猫ヶ岩屋古墳」があり、横穴式石室を見ることができる。

島後編

牛突きを見たあとで
 1221年隠岐に配流された後鳥羽

上皇のために始まったとされる隠岐の牛突きは、現在年3回の本場所と、観光用の牛突きとがある。西郷町の国分寺外苑牛突墳(本場所・観光用)は、近くに牛突きの入門所である隠岐牛突資料館があるほか、「国分寺」や「国分尼寺跡」ちょっと足を伸ばせば隠岐最大の前方後円墳「平神社古墳」などがある。

五箇村の姿沢岡牛塚(観光用)近くには水若酢神社をはじめ、隠岐郷土館、水若酢神社古墳など歩いて見ることが出来る文化財が多い。

島後海岸ドライブコース

島後の海岸は島前と比較してまだ松虫の被害が少なく、海岸に迫る山々は黒松によって見事なコントラストをつくっている。海岸沿いには玉若酢命神社と水若酢神社を起点とする道路が整備されつつあり、車で回るのがおすすめ。

西郷港から東回りで行くと、西郷湾内にかかる大きな橋の北のたもとに縄文土器を出した「宮尾遺跡」がある。日本海が見えたと、右手に石置き板葺きの民家「佐々木家住宅」へおりの道があり、さらに海岸沿いを進むと布施村卯敷港の「舟小屋群」が見える。布施漁港に到着すると、港北側の名勝浄土ヶ浦で休憩。

港を出るとすぐ左手に南谷林道(もしくは次の中谷林道)がある。これを進むと隠岐シャクナゲの観賞遊歩道や奇岩トカゲ岩などがある。

もとの道に戻って進むと、ここからはしばらく山道が続く。中村港を過ぎたあたりが黒曜石の石器が出た「湊遺跡」。さらに北上すると、右手に隠岐最北端の白鳥海岸展望台へ行く道がある。

ここから南下すると五箇村水若酢神社に到着。所用時間約2時間。ご苦労様でした。